

「横浜川崎港湾セミナーin ホーチミン」を 7月16日に開催しました！

国土交通省が令和6年2月に公表した「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会最終とりまとめ」では、「集貨」「創貨」「競争力強化」の三本柱の取組を引き続き強力に推進していくこととされ、特に「集貨」においては、新たに「東南アジア等からの広域集貨に向けた輸送ルートの構築」が示されています。

これを受け、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市において、ベトナム海事水路局(VIMAWA(ヴィマワ))、在ホーチミン日本国総領事館及び国土交通省をお招きし、国際トランシップ貨物量の増加と国際基幹航路の維持・拡大に向けて、船会社、物流事業者、荷主企業等を対象としたセミナーを開催しました。当日は、120名を超える多くの方にご参加いただきました。

横浜市及び横浜川崎国際港湾株式会社(YKIP(ワイキップ))は、引き続き国土交通省と連携して取り組んでいきます。



主催者挨拶をする YKIP 中井社長



講演する港湾局新保局長



多くの参加者を迎えたセミナー会場



フォトセッション

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【プログラム詳細について】

開催日時：

令和8年7月16日（木）15時～

会場：

NEW WORLD SAIGON HOTEL（ニュー ワールド サイゴン ホテル）

次第：

1 主催者挨拶

横浜川崎国際港湾株式会社 代表取締役社長 中井拓志（なかい・たくじ）

2 来賓挨拶

(1) ベトナム海事水路局(VIMAWA) 副局長 Hoang Hong Giang（ホアン・ホン・ザン）氏

(2) 在ホーチミン日本国総領事館 総領事 小野益央（おの・ますお）氏

3 講演

(1) 国土交通省港湾局

港湾経済課 特定港湾運営会社指導官 滝川尚樹（たきがわ・なおき）氏

(2) 横浜市港湾局長 新保康裕（しんぼ・やすひろ）

(3) 横浜川崎国際港湾株式会社 営業部長 林雄介（はやし・ゆうすけ）

(4) A. P. Moller-Maersk

DTS メコン地域責任者 Tong Duy Hieu（トン・ズイ・ヒェウ）氏

(5) Logitem Vietnam Corp. 副社長兼支店長 今津 麗（いまづ・れい）氏

本セミナーにおいては、ベトナム海事水路局(VIMAWA)及び在ホーチミン日本国総領事館の御挨拶の後、国土交通省から「日本の国際コンテナ戦略港湾政策」の概要について説明が行われました。続いて、横浜市から、横浜港の概要や主な取組のほか、横浜港を利用する利点を、横浜川崎国際港湾株式会社から、横浜港の優位性をアピールした国際コンテナ物流ネットワークについて紹介しました。

また、船会社 A. P. Moller - Maersk（エーピーモラーマースク）から、成長著しいベトナム市場と日本・ベトナム航路の重要性について、Logitem Vietnam Corp.（ロジテムベトナムコーポレーション）から、ベトナム物流事情と改善事例、横浜・川崎港の活用について、ご紹介頂きました。

問合せ先			
横浜市港湾局物流運営課長	飯島	Tel 045-671-2873	
横浜川崎国際港湾株式会社 総務部 総務課長	佐々木	Tel 045-680-6636	



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

